

東ティモールをめぐる国際紛争処理過程

助教授 瀨本 正太郎

- 1974.04.25. ポルトガルで軍事クーデター。非植民地化を打ち出す新政権誕生。
その後、東ティモール内で各勢力が対立し、内戦状態に。
- 1975.10-11 ポルトガル・インドネシア・オーストリア政府会談
- 1975.11.03. ポルトガル・インドネシア外相共同声明 「ポルトガル領ティモールの非植民地化に対する基本的責任は、ポルトガルにある。」
FRETILIN (東ティモール独立革命戦線) が内戦で優位に
- 1975.12.07. インドネシア、東ティモールに軍事侵攻
- 1975.12.12. 国連総会決議 3485(XXX) インドネシア軍の撤退要請
- 1975.12.22. 国連安全保障理事会決議 384 同旨 国連事務総長特使 Guicciardi を現地派遣
- 1976.04.22. 国連安全保障理事会決議 389 インドネシア軍撤退要請
インドネシア軍従わず。その後、膠着状態に。
- 1989 インドネシア・オーストラリア、ティモールギャップ協定締結。
- 1991.02.22. ポルトガル、オーストリアを相手取って国際司法裁判所に提訴。
- 1995.06.30. 国際司法裁判所判決
- 1998.05 スハルト・インドネシア大統領が退陣、ハビビ副大統領が大統領に就任。
- 1999.05.05. インドネシア・ポルトガル合意 東ティモールの特別な自治または独立
- 1999.06 安全保障理事会決議 1246 上記合意に基づく選挙監視
- 1999.08. 住民投票 独立を選択 治安が急激に悪化
- 1999.09.15. 安全保障理事会決議 1264 多国籍軍 (INTERFET) 設立を authorize
- 1999.10.20. インドネシア国民協議会 東ティモールの分離を認める決定を採択
- 1999.10.25. 安全保障理事会決議 1272 国連東ティモール暫定行政機構 (UNTAET) の設立を決定
- 2000.07 東ティモール暫定政府 (ETTA) 発足
- 2001.08.30. 憲法制定議会選挙実施
- 2002.03.22. 憲法公布
- 2002.04.14. 大統領選挙実施、シャナナ・グスマン氏が当選
- 2002.05.20. 東ティモール民主共和国独立
- 2002.09.27. 国連加盟